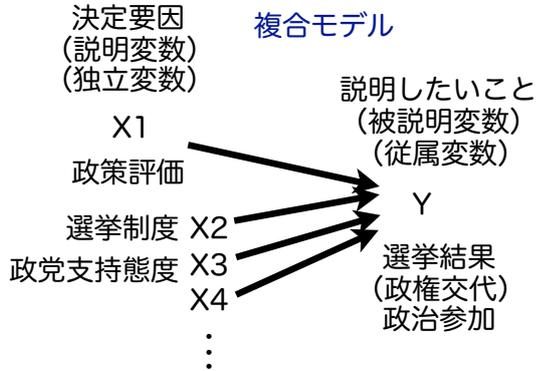


## 政党支持と「無党派」

(c) 2020 by Yoshitaka Nishizawa



## 政党支持態度とは

政党に対する心理的な「近さ」についての政治的  
態度

- 「有権者が特定の政党を支持しているという意識」 (田中愛治、現代日本政治小事典 2003年版、p.14-政党支持)
- 「特定の政党に対するひいき、愛着の態度」 (川人貞史、現代政治学事典 1991、p. 603-争点指向型投票者)

政党支持態度の帰納的な解釈

- ①投票以上のコミットメントを必要とする行動、②現在の態度、③中長期的な態度という3次元から構成 (谷口将紀 2012、『政党支持の理論』 p. 7)

95



- ・ 党派性-partisanship
  - 政党帰属意識-party identification
  - 政党支持-party support
- ・ 政党支持とは
- ・ 質問文：「選挙のことは別にして、ふだんあなたは何党を支持していますか」
  - ・ 次の選挙で、そこに投票するかどうかは別にして、自分にとって、つねづね「近い」と感じている政党
  - ・ 「態度」要因



## 「歩留まり率」

政党支持・投票意図政党・実際の投票の関係

- ・ PID (政党帰属意識) とは
- ・ Q. Generally speaking, do you usually think of yourself as a Republican, a Democrat, an Independent, or what?
- 1. 有権者のほとんどがもつ、政党に対する帰属意識
- 2. 家庭内の社会化により形成される
- 3. 帰属意識は安定的で、生涯、変わることはあまり



## 「政党支持」の疑問点 (1)

- ・ 「投票」という「支持」との区別が難しい

「選挙のことは別にして、ふだんあなたは何党を支持していますか」

ところが・・・

選挙が近づくと、  
「支持」 = 「投票する」

98



## 政党支持態度と政党帰属意識

	政党帰属意識	政党支持
・ ほとんどの人	○	△
・ 帰属意識	○	×
・ 家庭内社会化	○	△
・ 安定的	○	△

99



## 政党支持態度と政党帰属意識

●世代間の安定性、低い。初期社会化の影響は認められるが、成人後の社会化の方が優越

三宅 1998, p.5, l.5, 三宅 1985

●日本人は支持政党をよく変える。ただし、別の党へではなく、「ある政党支持」と「支持なし」の間の往復

三宅 1998, p.4, l.27

●政党帰属意識とは、厳密には異なるが、共通点も多く、政治意識の中でも最も重要

三宅 1985, p.3, l.20 100



## 「政党支持」の疑問点 (2)

- ・「無党派（支持なし）」が増加すると、「支持政党」を基準に投票を決められないが増える
- ・その人たちは、どのように投票政党を選んでいるのか？

101



## 「無党派」とは

- ・党派性を持たない人
- ・支持政党を答えない人
  - 政党名(ラベル/ブランド)で投票を決めない人
  - 政策評価・候補者評価をより重点をおく人(?)
  - マスメディアの論調によっては、人気投票的な投票もありえる



## 参考文献

- 谷口将紀 2012. 『政党支持の理論』岩波書店.
- 西澤由隆1998. 「選挙研究における『政党支持』の現状と課題」『日本選挙学会年報 選挙研究』第13号。
- 三宅一郎 1989. 『投票行動』東大出版会, 3章.